

平成22年9月期 第2四半期決算短信

平成22年5月11日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 ダイイチ

コード番号 7643 URL <http://www.daiichi-d.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 保男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画IR兼経理担当 (氏名) 川瀬 豊秋

TEL 0155-38-3456

四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年9月期第2四半期の連結業績(平成21年10月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年9月期第2四半期	14,540	—	386	—	354	—	265	—
21年9月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年9月期第2四半期	66.38	—
21年9月期第2四半期	—	—

(注)平成21年9月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成21年9月期第2四半期の数値については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年9月期第2四半期	13,507	4,749	35.2	1,188.09
21年9月期	13,025	4,544	34.9	1,136.77

(参考)自己資本 22年9月期第2四半期 4,749百万円 21年9月期 4,544百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年9月期	—	0.00	—	15.00	15.00
22年9月期	—	0.00			
22年9月期 (予想)			—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年9月期の連結業績予想(平成21年10月1日～平成22年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,423	4.8	631	21.1	559	17.7	350	24.8	87.58

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務情報等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年9月期第2四半期	4,003,320株	21年9月期	4,003,320株
---------------------	-------------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数	22年9月期第2四半期	5,677株	21年9月期	5,677株
-----------	-------------	--------	--------	--------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年9月期第2四半期	3,997,643株	21年9月期第2四半期	3,997,643株
----------------------	-------------	------------	-------------	------------

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想については、現時点において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は、今後様々な要因によって上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務情報等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成21年10月1日～平成22年3月31日)におけるわが国経済は、中国を含む新興国の成長に支えられた輸出の増加、政府のエコポイント制度やエコカー減税などの経済対策効果による一部企業の生産や収益の増加を背景に、高揚感はないものの緩やかな回復傾向にありました。

当社グループを取り巻くスーパーマーケット業界は、競合各社間との低価格競争による販売単価の下落に加え、引き続き雇用・所得環境の厳しさから消費者の節約志向と買い控えが一段と強まり、販売点数が伸び悩み極めて厳しい経営環境で推移いたしました。

このような経営環境のもとで当社グループは、当事業年度も前事業年度と同様に、「これまで以上に、お客様が、毎日の食生活で、必要とされる、商品作り、品揃えを徹底すること」、「より買いやすい価格、量目に重点を置いた商品作りを徹底すること」、「生活良好、生活優選を中心とした戦略商品を積極的に活用すること」などの基本方針の徹底と実践に努めてまいりました。また、営業方針に基づいて、全部署のオペレーションの改善や仕入の見直しによるコストダウン、競合店対策の徹底による競争力の強化、社外セミナーの活用による人材育成に取り組んでまいりました。

地域別売上高につきましては、帯広ブロックは71億円、旭川ブロックは51億3百万円、札幌ブロックは23億29百万円、その他6百万円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結子会社となった株式会社オーケーにつきましては、地域のお客様の支持拡大を得て、売上高および経常利益等、堅調に推移しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は145億40百万円、営業利益は3億86百万円、経常利益は3億54百万円、四半期純利益は2億65百万円となりました。

なお、前第3四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債および純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ、4億81百万円増加の135億7百万円となりました。流動資産においては、主に現金及び預金の増加1億66百万円および売掛金の増加18百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億88百万円増加の19億27百万円となりました。固定資産においては、有形固定資産その他の増加3億18百万円等により、前連結会計年度末に比べ2億93百万円増加の115億79百万円となりました。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億76百万円増加の87億57百万円となりました。流動負債においては、主に買掛金の増加1億34百万円および短期借入金の増加60百万円等に対し、賞与引当金の減少63百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億61百万円増加の36億14百万円となりました。固定負債においては、長期借入金の増加44百万円およびその他の増加69百万円等により、前連結会計年度末に比べ1億15百万円増加の51億43百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億5百万円増加の47億49百万円となりました。これは主に、利益剰余金2億5百万円の増加によるものであります。この結果、自己資本比率は35.2%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、6億32百万円となりました。これは営業活動によるキャッシュ・フローが3億96百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが3億25百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが71百万円の収入となったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年9月期の通期連結業績につきましては、平成21年11月10日に公表いたしました数値から修正は行っていません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

簡便な会計処理については重要性が乏しいため記載は省略しております。

- ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理
該当事項はありません。

- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	750,760	583,779
売掛金	115,318	97,204
商品及び製品	770,007	753,637
原材料及び貯蔵品	3,043	2,730
その他	289,812	303,398
貸倒引当金	△1,500	△1,500
流動資産合計	1,927,443	1,739,250
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	4,002,705	4,129,987
土地	5,721,392	5,701,392
その他(純額)	600,741	281,792
有形固定資産合計	10,324,839	10,113,171
無形固定資産		
その他	27,176	27,176
無形固定資産合計	27,176	27,176
投資その他の資産		
敷金及び保証金	641,797	654,041
その他	586,074	492,009
投資その他の資産合計	1,227,872	1,146,051
固定資産合計	11,579,888	11,286,400
資産合計	13,507,331	13,025,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,712,910	1,578,835
短期借入金	290,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	765,212	721,044
未払法人税等	85,940	106,827
賞与引当金	94,180	157,368
その他	666,312	659,462
流動負債合計	3,614,555	3,453,538
固定負債		
長期借入金	3,924,044	3,879,584
退職給付引当金	457,358	458,852
役員退職慰労引当金	147,811	144,632
その他	614,004	544,625
固定負債合計	5,143,218	5,027,694
負債合計	8,757,773	8,481,232

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	840,455	840,455
資本剰余金	767,302	767,302
利益剰余金	3,139,142	2,933,760
自己株式	△2,648	△2,648
株主資本合計	4,744,251	4,538,869
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,306	5,549
評価・換算差額等合計	5,306	5,549
純資産合計	4,749,557	4,544,418
負債純資産合計	13,507,331	13,025,651

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)
売上高	14,540,623
売上原価	11,216,682
売上総利益	3,323,940
営業収入	211,204
営業総利益	3,535,145
販売費及び一般管理費	3,148,856
営業利益	386,288
営業外収益	
受取利息	3,835
受取配当金	4,557
その他	2,368
営業外収益合計	10,760
営業外費用	
支払利息	41,397
その他	866
営業外費用合計	42,263
経常利益	354,785
特別利益	
受取補償金	26,773
特別利益合計	26,773
税金等調整前四半期純利益	381,559
法人税、住民税及び事業税	85,228
法人税等調整額	30,984
法人税等合計	116,212
四半期純利益	265,347

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	381,559
減価償却費	161,116
賞与引当金の増減額(△は減少)	△63,188
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,493
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	3,179
受取利息及び受取配当金	△8,392
支払利息	41,397
売上債権の増減額(△は増加)	△18,113
たな卸資産の増減額(△は増加)	△16,683
その他の資産の増減額(△は増加)	△888
仕入債務の増減額(△は減少)	134,075
未払消費税等の増減額(△は減少)	△41,809
その他の負債の増減額(△は減少)	△35,733
小計	535,024
利息及び配当金の受取額	4,628
利息の支払額	△41,402
法人税等の支払額	△101,962
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,287
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△24,614
有形固定資産の取得による支出	△205,847
投資有価証券の取得による支出	△599
建設協力金の支払による支出	△112,897
建設協力金の回収による収入	16,164
敷金及び保証金の差入による支出	△298
敷金及び保証金の回収による収入	2,633
投資活動によるキャッシュ・フロー	△325,458
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	445,000
長期借入金の返済による支出	△356,372
短期借入金の純増減額(△は減少)	60,000
リース債務の返済による支出	△16,921
配当金の支払額	△60,169
財務活動によるキャッシュ・フロー	71,537
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	142,366
現金及び現金同等物の期首残高	490,503
現金及び現金同等物の四半期末残高	632,870

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

小売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間(自平成21年10月1日 至平成22年3月31日)

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。